

	視 点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取 組 の 内 容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	教科指導においては、基礎基本を定着させることはもちろんのこと、「上級学校において役立つ学力」「社会の中で自ら生きていくために必要な学力」「学び直しとしての学力」の定着を図る。 「学びの場」としての定時制高校の意義を再確認させ、生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践する。	単位制システムを活用した多様な生徒のニーズに応える教育課程の確立を目指す。 生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践し、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた基礎基本の充実を図るとともに学習習慣の確立を目指す。	定時制生徒の多様な状況に応じたきめ細かい指導のために GWPW*等の工夫改善を行うとともに、インクルーシブ教育の視点を取り入れた学習指導の充実を図る。また、新学習指導要領の趣旨を踏まえた、教育課程の確立を図る。 指導主事を招いた研究授業等を実施し、組織的な授業改善に取り組み、職員のスキルアップを図る。 関係するグループと連携し、授業規律を徹底させ、よりよい学習環境を継続して整備する。 * : GWPW (Group Work Pair Work)	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、生徒の言語活動を充実することができたか。また、インクルーシブ教育の視点を取り入れた学習指導に関しての充実を図ることができたか。 組織的な授業改善の取り組みが深められたか。 生徒自らが受信して考え、発信する場の設定ができたか。
2	生徒指導・ 支援	一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、希望をもって学べる学校づくりを進める。 すべての教育活動を通して道徳教育を推進し、道徳的心情と道徳的判断力を育む。	安心安全な学習環境を継続させるとともに、教育相談体制を充実させ、生徒一人ひとりの学校生活をきめ細かく支援する。 教科活動や学校行事、特別活動などを通じて、規範意識を高め、自律の態度を育成する。	校内巡回を徹底し、問題行動の早期発見、未然防止に努め、迅速な対応のできる体制を整備する。 様々な問題を抱える生徒に寄り添う教育相談体制を整備するため、他グループ、年次団との連携を図る。 各活動におけるルールの徹底を図り、学期末等の全校集会において、生徒一人ひとりに自己評価させる機会を設定する。	校内巡回を徹底し、問題行動を早期発見、未然防止に努め、迅速な対応ができたか。 生徒に寄り添う教育相談体制を整備し、他グループ、年次団と連携を図れたか。 ルールの徹底を図り、生徒一人ひとりに自己評価させる機会を設定できたか。
3	進路指導・ 支援	キャリア教育の一環として、道徳教育との関連性をもって、すべての教育活動において、生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。	生徒一人ひとりのキャリア教育の充実を目指し、それぞれが希望する進路実現を支援する。	生徒の職業観の育成に努め、年次団と連携しながら、就職活動サポート、進学支援、シチズンシップ教育及び道徳教育の充実を図り、生徒一人ひとりが希望する進路実現を支援する。 生徒一人ひとりのニーズに対応した就業支援としてハローワーク及び地域の企業との連携を図る。	生徒の職業観を育成し、キャリア教育を充実させることによって、希望する進路実現ができたか。 生徒一人ひとりのニーズに対応した就業支援としてハローワーク及び地域の企業と連携できたか。
4	地域等との 協働	家庭や地域の教育力の活用と関連行政機関との連携を一層充実させ、教育力の向上を図る。	地域及び学校間の連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。	学校、家庭、地域と連携した教育活動、開かれた学校づくり、学校説明会、ホームページ等を広く活用した学校広報活動の推進を図る。 コミュニティスクール指定校として特色ある教育活動を推進する。	地域や外部機関との連携を図り、学校周辺の環境整備事業やその活動状況について徹底できたか。 コミュニティスクールの意見を活用できたか。
5	学校管理 学校運営	学校防災力の向上を図り、自らのいのちを守る防災教育を実践する。 不祥事防止を徹底するとともに、教職員の課題解決能力を一層向上させる。	安全・安心で信頼される学校づくりを推進する。 生徒、保護者と職員の信頼関係のもと、充実した式典等の学校行事に取り組む。	防犯・防災体制の構築、防災教育の徹底により、学校防災力の向上を図る。 関係グループと連携し、ホームページ等で緊急時の情報発信体制の確立を図る。 教職員の実践的指導力の向上により生徒自らが考え、主体的に式典等学校行事に取り組ませる姿勢づくりを図る。	防災学習会や夜間停電体験や、地域と防災対策について連携を強化できたか。 緊急時の対応を整備できたか。 生徒が主体的に運営に携わった学校行事を実施できたか。